

山口県感染症発生週報 (第29週:平成25年7月15日～7月21日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

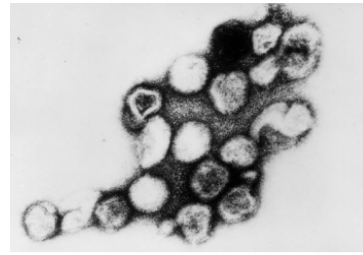
・結核: 27週追加 1例(下関)。28週追加 1例(下関)。
29週 4例(岩国1、山口1、周南1、萩1)。

【3類感染症】

・腸管出血性大腸菌感染症: 2例(下関1 O157 VT1VT2、宇部1 O157 VT1VT2)。

【5類感染症】

・風しん: 2例(下関10歳代女性、周南50歳代男性)。平成25年の山口県内累計は23例で、発生が続いています。全国的には、5月をピークに減少していますが、依然として多数の患者報告が続いています。(第28週までの累計は12,832例)。



風しんウイルス
CDC/ Dr. Erskine Palmer

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・RSウイルス感染症: 例年、秋から冬に流行する疾患です。報告数はまだ少数ですが、やや増加しています。
- ・手足口病: すべての地域で警報レベルが続いていますが、報告数は減少しています。岩国、長門では前週より増加し、その他の地域では減少しました。報告数は多い状況ですので、引き続き注意が必要です。[警報レベル: 山口(5週目)、周南(4週目)、防府(6週目)、下関(4週目)、柳井(3週目)、萩(5週目)、岩国(5週目)、長門(4週目)、宇部(6週目)]*
- ・ヘルパンギーナ: 長門で警報レベルが続いており、下関で増加し警報レベルとなりました。県全体での報告数は、減少傾向にあります。[警報レベル: 長門(10週目)、下関(1週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	27週	28週	29週	疾患名	27週	28週	29週
インフルエンザ	0	0	0	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	7	13	25	ヘルパンギーナ	187	180	172
咽頭結膜熱	26	18	20	流行性耳下腺炎	7	14	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	99	85	56	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	193	165	161	流行性角結膜炎	0	0	1
水痘	43	36	33	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	609	806	590	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	0	3	1	マイコプラズマ肺炎	1	1	1
突発性発しん	35	27	27	無菌性髄膜炎	0	0	1

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	2	0	5	7	0	8	3	0	25
咽頭結膜熱	14	1	0	3	1	1	0	0	0	20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1	4	7	3	26	2	1	3	56
感染性胃腸炎	28	8	0	54	4	25	32	2	8	161
水痘	2	3	3	3	0	10	11	1	0	33
手足口病	125	50	35	158	45	100	36	18	23	590
伝染性紅斑	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
突発性発しん	5	1	0	11	0	7	2	1	0	27
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	66	2	0	34	3	13	26	23	5	172
流行性耳下腺炎	1	0	1	0	0	1	1	2	0	6
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1